

第 5 回日野市指定管理者候補者選定委員会議事要点録

日 時	平成 26 年 8 月 6 日（水）午後 1 時 30 分～午後 2 時 35 分
場 所	市役所 4 階 庁議室
出席者	坪島委員長、岩崎委員、岡村委員、高橋委員、渡邊企画部長、篠崎総務部長、大島子ども部長
議 題	日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ応募者によるプレゼンテーション 1.本日の流れ、審査手順説明 2.審査（日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ：社会福祉法人 雲柱社） 3.前回採点結果報告、次回の説明
議題 1	● 本日の流れ説明、審査手順の説明 事務局（企画調整課）より説明。 （1）日野市立たまだいら児童館ふれっしゅの応募事業者のプレゼンテーション ・事業者（社会福祉法人 雲柱社）による説明 15 分 ・事業者及び主管課（子育て課）への質疑 20 分 ・採点 10 分 （2）選定結果及び決定について ・次回報告する。
議題 2	● 審査（日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ：社会福祉法人 雲柱社） 事業計画書に基づくプレゼンテーション =主な質疑= （質問）児童館キャンプの募集の記事は「広報ひの」に掲載したか。 （回答）6 月 1 日号の「広報ひの」に掲載した。 （要望）学校や地域に居場所のない中高生は、児童館のスタッフの支えが必要である。特筆すべき提案として記載されている「中高生の居場所づくり」について、引き続き力を入れてほしい。 （質問）継続的に児童館を運営しているが、現在の子供達の状況にどのような変化があるか。 （回答）例えばキャンプに参加した子供達を 10 年前と比較すると、昔は時間のある限り思いっきり遊ぶ子供が多かったが、最近は寒いからという理由ですぐ川から出たり、疲れて遊ぶのを止める子供が多く体力の減少を感じる。 （質問）防犯等で問題が起きた時には、迅速（1 週間）に解決できているか。 （回答）現在のところ、解決できない大きな事例が起きていない。事務室の位置も入口から真正面にあることと、利用者とコミュニケーションを図ることにより、常に防犯に気を付けている。 （要望）マンションの建設に伴い、転入してくる方もいる。初めての方も利用しやすいように児童館の良さをさらにアピールしてほしい。

	(質問) そもそも 10 年前、都内に事業展開していた御社が、日野市の児童館を申請した理由は何か。 (回答) 熱心に誘いを受けたため。また、雲柱社の職員の中には多摩地区に住んでいるものもいる。都内へ出てくる時間的なロスを省き、住んでいる地域で良い仕事ができるきっかけとなれればと考えた。 (質問) 多方面に事業展開している。小さな事業（児童館）でもしっかりとした運営ができるか。 (回答) 担当理事を置くブロック制により、しっかり事業展開している。 (質問) 本部事務費 8%とあるが、これは何か。 (回答) 企業は一般に 15%だが、私たちは安定してしっかりした事業運営を図るため、本部経費にかかる必要最低限の経費 8%を計上している。 (質問) 災害訓練に参加した人数は何人か。 (回答) 50 人から 60 人くらい。 (質問) 「障害者など社会的弱者へ理解を深める」とあるが、具体的に利用者の子供達への活動内容は何か。 (回答) 事業ではなく、自由来館の中で特定の子供への中傷など、常に職員が注意して見ることで、絶対に見過ごさないようにしている。 (要望) 今の子供達に弱者をいたわる気持ちを養ってもらいたい。 (質問) これだけ多くの事業を行うにあたり、職員数は足りているか。 (回答) シフトを変えるなど柔軟に対応することにより、無理なく事業展開している。 また、利用者が多いときは、乳幼児親子に声をかけ、子ども家庭支援センターに移動していただく等、連携しながら行っている。 (質問) 財政状況について、当期損益はどのくらいか。 (回答) 多少黒はあるが、人件費などのため、運営費を含めると 2 億から 3 億の投資を図る必要がある。 (質問) まちや人が変わることへの事業展開はしっかり記載がある。 また、最近、子供の貧困ということが出てきているが、現場での実感はあるか。 また法人では、子供の貧困に対するフォローなどを具体的に東京都から求められているか。 (回答) 切れ目のない支援をすることが事業のコンセプトである。その中で、学童クラブでは子供の貧困の問題がある。ひとり親家庭が 15%から 20%ある。親が仕事を掛け持ちする中で、19 時までの業務を利用者の声で急きょ 20 時まで開け、親の帰りを迎えることもある。また、日曜開館していると家族と出かけることのない子供が 1 日利用する。そのような利用者に丁寧に対応している。さらに、中高生の中には学力の低い子供達がいる。江東区や墨田区では学習支援を行っている。法人でも自主事業として、日々の来館者に対応している。 (要望) ひのっこすくすくプランに沿った事業展開を示していただいた。今後、子ども子育て
--	--

議題 3	新制度も踏まえ、さらに日野市では子供達の放課後を支えることを大きな柱として 行っていく。このことを踏まえ、ご尽力いただきたい。 (質問) イオンモールができると、この地域は劇的に変わると考える。防犯対策を考えているか。 (回答) 今まで以上に受付で声掛けやチェックを欠かさずに行っていく。また、月 1 回開催 される、多摩平の森ふれあい館全体の会議の場で考えたい。 ● 前回採点結果報告、次回の説明 事務局（企画調整課）より説明。 ・ 前回の採点表の集計表（日野市立万願寺交流センター、日野市立多摩平交流センター）を 事務局から配布した。 ・ 次回選定委員会について 日時 平成 26 年 8 月 8 日（金）13:30 から 場所 市役所 4 階 庁議室 次回に向けたお願い ～第 5 回日野市指定管理者候補者選定委員会(日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ)終了～
-------------	--